

(19)日本国特許庁 (JP)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-230389

(P2002-230389A)

(43)公開日 平成14年8月16日(2002.8.16)

(51)Int.Cl.<sup>1</sup>  
G 0 6 F 17/60識別記号  
3 2 4  
3 3 0  
5 0 2F I  
G 0 6 F 17/60テマコード(参考)  
3 2 4  
3 3 0  
5 0 2

審査請求 未請求 請求項の数16 O.L (全 10 頁)

(21)出願番号 特願2001-352268(P2001-352268)  
 (22)出願日 平成13年11月16日(2001.11.16)  
 (31)優先権主張番号 特願2000-361088(P2000-361088)  
 (32)優先日 平成12年11月28日(2000.11.28)  
 (33)優先権主張国 日本 (JP)

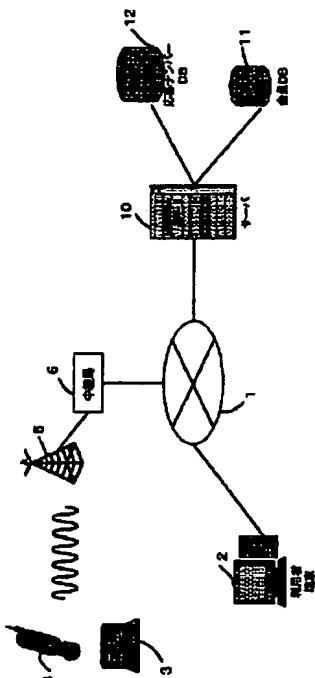
(71)出願人 000002897  
大日本印刷株式会社  
東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号  
 (72)発明者 酒井 克己  
東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号  
大日本印刷株式会社内  
 (74)代理人 100107331  
弁理士 中村 晃延 (外2名)

## (54)【発明の名称】 応募処理システム

## (57)【要約】

【課題】 利用者が手軽にかつ有効にキャンペーンに参加すること、及び、主催者が効率的かつ的確に応募の受付、処理を行うこと可能とするシステムを提供する。

【解決手段】 応募処理システムにおいて、複数の商品に個別に割り当てられた複数の応募ナンバーを記憶する応募ナンバーデータベースと、利用者毎の獲得ポイント数を含む情報を記憶する利用者データベースと、インターネット上のウェブサイトにおいて、利用者による応募ナンバーの入力を受け取る手段と、受け取った応募ナンバーが前記応募ナンバーデータベース内に記憶されている応募ナンバーと一致するか否かを判定し、一致する場合に、当該利用者に対する前記獲得ポイント数を増加する判定手段と、を備える。



1

2

## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の商品に個別に割り当てられた複数の応募ナンバーを記憶する応募ナンバーデータベースと、

利用者毎の獲得ポイント数を含む情報を記憶する利用者データベースと、

インターネット上のウェブサイトにおいて、利用者による応募ナンバーの入力を受け取る手段と、

受け取った応募ナンバーが前記応募ナンバーデータベース内に記憶されている応募ナンバーと一致するか否かを判定し、一致する場合に、当該利用者に対する前記獲得ポイント数を増加する判定手段と、を備える応募処理システム。

【請求項 2】 前記判定手段は、応募ナンバーの一一致を予め決められた所定回数のみ判定する請求項 1 に記載の応募処理システム。

【請求項 3】 前記判定手段は、前記応募ナンバーデータベースに記憶された各応募ナンバーについて一回のみ応募ナンバーの一一致を認める請求項 1 又は 2 に記載の応募処理システム。

【請求項 4】 応募期限日を含む英数字列として応募ナンバーを決定し、前記ナンバーデータベースに記憶する手段と、

利用者が入力した応募ナンバーから前記応募期限日を抽出し、利用者の入力日が前記応募期限日以前であるか否かを判定する手段と、を備え、

前記判定手段は、利用者が応募ナンバーを入力した日が前記応募期限日以前である場合に限り、前記応募ナンバーの一一致を認める請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の応募処理システム。

【請求項 5】 商品の製造番号、賞味期限及び有効期限の少なくとも 1 つを含む英数字列として応募ナンバーを決定し、前記ナンバーデータベースに記憶する手段を備える請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の応募処理システム。

【請求項 6】 前記ウェブサイトにおいて、利用者による送信用メッセージの入力を受け取り、入力されたメッセージ中に予め決められた広告メッセージを挿入して、利用者が指定したメールアドレスに送信する手段を備える請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載の応募処理システム。

【請求項 7】 前記応募ナンバーを生成する応募ナンバー生成手段をさらに備え、前記応募ナンバー生成手段は、

複数桁のシリアルナンバーを生成する手段と、

1 衡以上のチェックデジットを生成する手段と、

前記シリアルナンバーを構成する各位の数値及び前記チェックデジットを組み合わせて前記応募ナンバーを作成する手段と、を備えることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の応募処理システム。

10

20

30

40

50

【請求項 8】 前記チェックデジットは、前記シリアルナンバーの増加に応じて変化することを特徴とする請求項 7 に記載の応募処理システム。

【請求項 9】 前記シリアルナンバーを構成する各位の数値は、所定の初期値から所定の増分毎に増加するよう決定されることを特徴とする請求項 7 又は 8 に記載の応募処理システム。

【請求項 10】 商品毎に一意に決定されるシリアルナンバーと、複数の商品に対応付けされるグループナンバーとを含む応募ナンバーを生成する応募ナンバー生成手段をさらに備えることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の応募処理システム。

【請求項 11】 前記商品の包装材毎に異なる応募ナンバーを付す印字装置をさらに備えることを特徴とする請求項 1 乃至 10 のいずれか一項に記載の応募処理システム。

【請求項 12】 複数桁のシリアルナンバーを生成する手段と、

1 衡以上のチェックデジットを生成する手段と、  
前記シリアルナンバーを構成する各位の数値及び前記チェックデジットを組み合わせて前記応募ナンバーを作成する手段と、を備えることを特徴とする応募ナンバー生成装置。

【請求項 13】 前記チェックデジットは、前記シリアルナンバーの増加に応じて変化することを特徴とする請求項 12 に記載の応募ナンバー生成装置。

【請求項 14】 前記シリアルナンバーを構成する各位の数値は、所定の初期値から所定の増分毎に増加するよう決定されることを特徴とする請求項 12 又は 13 に記載の応募ナンバー生成装置。

【請求項 15】 商品の包装材を製造する包装材製造装置と、  
前記包装材製造装置により製造される前記包装材に対して、前記商品の包装材毎に異なる応募ナンバーを付す印字装置と、を備えることを特徴とする包装材製造システム。

【請求項 16】 前記応募ナンバーは、商品毎に一意に決定されるシリアルナンバーと、複数の商品に対応付けられるグループナンバーとを含み、

前記包装材製造装置は前記グループナンバーを前記包装材に印刷し、前記印字装置は前記シリアルナンバーを前記包装材に印字することを特徴とする請求項 15 に記載の包装材製造システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、商品購入に伴うキャンペーンなどにおいて、インターネットを通じて購入者の応募、ポイント登録などを行うシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】 清涼飲料などの購入者が、缶やボトルに

添付されたシールなどを集めて景品をもらうキャンペーンが行われている。一般的には、缶やボトルに添付されたシールをはがきに貼り付け、所定数が集まった時点で郵送により応募する。また、電話を利用してポイント登録を行う方法もある。

#### 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、シールを利用する方法は、せっかく集めたシールを紛失してしまうことが少なくない。また、電話を利用する方法は、キャンペーン主催者側で電話オペレータを準備する必要があり、人件費がかかる。

【0004】本発明は、以上の点に鑑みてなされたものであり、利用者が手軽にかつ有効にキャンペーンに参加すること、及び、主催者が効率的かつ確実に応募の受付、処理を行うこと可能とするシステムを提供することを目的とする。

#### 【0005】

【課題を解決するための手段】請求項1に記載の発明は、応募処理システムにおいて、複数の商品に個別に割り当てられた複数の応募ナンバーを記憶する応募ナンバーデータベースと、利用者毎の獲得ポイント数を含む情報を記憶する利用者データベースと、インターネット上のウェブサイトにおいて、利用者による応募ナンバーの入力を受け取る手段と、受け取った応募ナンバーが前記応募ナンバーデータベース内に記憶されている応募ナンバーと一致するか否かを判定し、一致する場合に、当該利用者に対する前記獲得ポイント数を増加する判定手段と、を備える。

【0006】上記のように構成された発明によれば、商品毎に割り当てられた応募ナンバーが応募ナンバーデータベースに記憶されている。利用者が商品を購入して、ウェブサイトにアクセスし、商品に添付された応募ナンバーを入力すると、その応募ナンバーが応募ナンバーデータベース中に記憶された応募ナンバーと一致するか否かが判定される。一致する場合には、その応募は適正であるとしてその利用者の獲得ポイント数が増加される。

【0007】請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の応募処理システムにおいて、前記判定手段は、応募ナンバーの一致を予め決められた所定回数のみ判定する。よって、誤った応募ナンバーで繰り返し応募ナンバーが入力されることが防止される。

【0008】請求項3に記載の発明は、請求項1又は2に記載の応募処理システムにおいて、前記判定手段は、前記応募ナンバーデータベースに記憶された各応募ナンバーについて一回のみ応募ナンバーの一致を認める。よって、同じ応募ナンバーで複数回の応募があった場合でも、2回目以降の応募は無効とされる。

【0009】請求項4に記載の発明は、請求項1乃至3のいずれかに記載の応募処理システムにおいて、応募期限日を含む英数字列として応募ナンバーを決定し、前記

ナンバーデータベースに記憶する手段と、利用者が入力した応募ナンバーから前記応募期限日を抽出し、利用者が応募ナンバーを入力した日が前記応募期限日以前であるか否かを判定する手段と、を備え、前記判定手段は、利用者の入力日が前記応募期限日以前である場合に限り、前記応募ナンバーの一貫性を認める。よって、利用者が入力した応募ナンバーに基づいて、応募期限内の有効な応募であるか否かを判別することができ、期限を限定したキャンペーンなどの応募を容易に処理することができる。

【0010】請求項5に記載の発明は、請求項1乃至3のいずれかに記載の応募処理システムにおいて、商品の製造番号、賞味期限及び有効期限の少なくとも1つを含む英数字列として応募ナンバーを決定し、前記ナンバーデータベースに記憶する手段を備える。これにより、商品に関する情報を利用して応募ナンバーを容易に作成することができる。

【0011】請求項6に記載の発明は、請求項1乃至5のいずれかに記載の応募処理システムにおいて、前記ウェブサイトにおいて、利用者による送信用メッセージの入力を受け取り、入力されたメッセージ中に予め決められた広告メッセージを挿入して、利用者が指定したメールアドレスに送信する手段を備える。これにより、利用者がメールを送った相手に、自動的に広告メッセージを見せることができる。

【0012】請求項7に記載の発明は、請求項1乃至3のいずれか一項に記載の応募処理システムにおいて、前記応募ナンバーを生成する応募ナンバー生成手段をさらに備え、前記応募ナンバー生成手段は、複数桁のシリアルナンバーを生成する手段と、1桁以上のチェックデジットを生成する手段と、前記シリアルナンバーを構成する各位の数値及び前記チェックデジットを組み合わせて前記応募ナンバーを作成する手段と、を備えることを特徴とする。これによれば、応募ナンバーはチェックデジットを含み、かつ、チェックデジットとシリアルナンバーとの組み合わせにより構成されるので、応募ナンバーを推測することが困難となり、不正な応募を防止することができる。

【0013】請求項8に記載の発明は、請求項7に記載の応募処理システムにおいて、前記チェックデジットは、前記シリアルナンバーの増加に応じて変化する。これにより、チェックデジットの決定方法に規則性が導入されるので、正当な応募であるか否かの判断がより正確となる。

【0014】請求項9に記載の発明は、請求項7又は8に記載の応募処理システムにおいて、前記シリアルナンバーを構成する各位の数値は、所定の初期値から所定の増分毎に増加するように決定される。これによれば、シリアルナンバーは単に1ずつ増加するわけではないので、応募ナンバーの推測がより困難となる。

【0015】請求項10に記載の発明は、請求項1乃至3のいずれか一項に記載の応募処理システムにおいて、商品毎に一意に決定されるシリアルナンバーと、複数の商品に対応付けられるグループナンバーとを含む応募ナンバーを生成する応募ナンバー生成手段をさらに備える。これによれば、応募ナンバーをシリアルナンバーとグループナンバーとに分けて商品の包装などに付すことができるので、ナンバーを付す部分のスペースを節約するとともに、不正に応募ナンバーを知ることを困難とすることがができる。

【0016】請求項11に記載の発明は、請求項1乃至10のいずれか一項に記載の応募処理システムにおいて、前記商品の包装材毎に異なる応募ナンバーを付す印字装置をさらに備える。これにより、商品毎にユニークな応募ナンバーを付すことが可能となる。

【0017】請求項12に記載の発明は、応募ナンバー生成装置において、複数桁のシリアルナンバーを生成する手段と、1桁以上のチェックデジットを生成する手段と、前記シリアルナンバーを構成する各位の数値及び前記チェックデジットを組み合わせて前記応募ナンバーを作成する手段と、を備える。

【0018】上記の応募ナンバー生成装置によれば、応募ナンバーはチェックデジットを含み、かつ、チェックデジットとシリアルナンバーとの組み合わせにより構成されるので、応募ナンバーを推測することが困難となり、不正な応募を防止することができる。

【0019】請求項13に記載の発明は、請求項12に記載の応募ナンバー生成装置において、前記チェックデジットは、前記シリアルナンバーの増加に応じて変化する。これにより、チェックデジットの決定方法に規則性が導入されるので、正当な応募であるか否かの判断がより正確となる。

【0020】請求項14に記載の発明は、請求項12又は13に記載の応募ナンバー生成装置において、前記シリアルナンバーを構成する各位の数値は、所定の初期値から所定の増分毎に増加するように決定される。これによれば、シリアルナンバーは単に1ずつ増加するわけではないので、応募ナンバーの推測がより困難となる。

【0021】請求項15に記載の発明は、包装材製造システムにおいて、商品の包装材を製造する包装材製造装置と、前記包装材製造装置により製造される前記包装材に対して、前記商品の包装材毎に異なる応募ナンバーを付す印字装置と、を備える。

【0022】上記の包装材製造システムによれば、複数の包装材が製造され、それらに対して包装材毎に異なる応募ナンバーが印字される。よって、商品毎に異なる応募ナンバーを付すことが可能となる。

【0023】請求項16に記載の発明は、請求項15に記載の包装材製造システムにおいて、前記応募ナンバーは、商品毎に一意に決定されるシリアルナンバーと、複

10

数の商品に対応付けされるグループナンバーとを含み、前記包装材製造装置は前記グループナンバーを前記包装材に印刷し、前記印字装置は前記シリアルナンバーを前記包装材に印字する。この態様によれば、応募ナンバーをシリアルナンバーとグループナンバーとにより構成し、それらを異なる部分に表示することができるので、不正な応募を効果的に防止することができる。また、複数の商品に共通のグループナンバーは包装材の製造中に同時に印刷し、商品毎に異なるシリアルナンバーは印字装置により個別に印字するので、1つの製造システム内で効率的に応募ナンバーを付与することができる。

20

#### 【0024】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の好適な実施の形態について説明する。

30

【0025】[第1実施形態] 図1に、本発明の第1実施形態にかかるシステムの概略構成を示す。図1において、キャンペーン主催者のサーバ10は、インターネット1を通じて利用者(商品購入者)と通信することができる。利用者は、パーソナルコンピュータ2、携帯型端末3、携帯電話4などのインターネットへ接続可能な装置を使用して主催者サーバ10へ接続する。携帯型端末3や携帯電話4を使用する場合は、所定の中継局6などを介してインターネット1への接続が確立される。

30

【0026】主催者は、サーバ10に接続された会員データベース(DB)11と応募ナンバーディスク12を備える。会員DB11は、商品を購入し、キャンペーンに応募してきた利用者の情報を記憶する。応募ナンバーディスク12は、市場に流通している商品に付した応募ナンバーを記憶している。

40

【0027】次に、本システムを利用したキャンペーンの全体的な流れについて概説する。

40

【0028】まず、主催者は、サーバ10を利用して応募ナンバーを生成する。応募ナンバーの生成方法は後に詳しく説明する。生成した応募ナンバーはシールやタグその他の形態で商品に添付される。例えば、清涼飲料などの場合は、シールに応募ナンバーを印刷してシールを缶に貼り付ける、ペットボトルの外側に付けられたラベルに応募ナンバーをプリントするなどの方法を使用することができる。

50

【0029】利用者は、店で商品を購入し、応募ナンバーを知る。商品には、応募ナンバーとともに、主催者のウェブサイトへのアクセス情報、例えばサーバ10のURLなどが印刷されている。利用者は、図1に例示するパーソナルコンピュータ2、携帯型端末3、携帯電話4などを利用してその主催者のウェブサイトへアクセスし、利用者登録などを行い、応募ナンバーを入力して応募する。応募により累積したポイントに応じて抽選などが行われ、景品が利用者に提供される。なお、主催者ウェブサイト上では、応募してきた利用者に対して後述の友人紹介キャンペーンを行う。

【0030】次に、主催者サーバ10による応募ナンバーの生成方法について説明する。応募ナンバーは、ユーザーがパソコンや携帯電話で入力するので、英数字などを使用する。英数字合計36文字で例えば7桁とすれば、約700億通りの組み合わせができる。例えば、キャンペーンの対象となる商品の月間生産数量を3億本とすれば、毎月3億通りの応募ナンバーを生成することになる。

【0031】ここで、考慮すべきことは、実際に商品を購入していない不正な応募を排除することが要求されることである。応募ナンバーが英数字などを含めて連番で生成されているとすれば、購入した商品に付いている応募ナンバーの前後の番号を使用しても応募ができてしまう。このため、例えば前述のように英数字36桁で700億通りのナンバーの中から、ランダムに3億通りの応募ナンバーを作るようにして、利用者が応募ナンバーを予測できないようにする。

【0032】また、他人が購入した商品の応募ナンバーを利用することを防止するために、既に商品に付された応募ナンバーはナンバーDB12内に記憶しておき、同一の応募ナンバーに対しては複数の応募があつても、最初の応募のみを受け付けるようにすることができる。

【0033】また、この種のキャンペーンは、期間を限定するものが多い。このため、応募ナンバーに日付の情報を含めておくことができる。例えば、キャンペーンの有効期限を含めて応募ナンバーを作成する（2000年11月25日が有効期限であれば、001125などの数字を含めて応募ナンバーを作成する）。こうすれば、主催者サーバへ応募があったときに、応募ナンバーから有効期限がわかるので、期限を過ぎた応募に対してはその旨をユーザーに表示して応募を受け付けないこともできる。また、同様の趣旨で、日付情報としてその製品の製造年月日、賞味期限や有効期限などを使用することもできる。これにより、応募ナンバーの生成作業が容易になるという効果もある。

【0034】次に、商品を購入した利用者が応募する際の処理を図2及び3を参照して説明する。まず、利用者は購入した商品から主催者のURLを知り、パソコン2、携帯型端末3又は携帯電話4を使用して主催者のウェブサイトへアクセスする（ステップS2）。そして、メニューに従って、氏名その他の個人情報を入力し、会員登録を行う（ステップS4）。サーバ10は、入力された情報を会員DB11内に記憶する。よって、会員DB11には、各会員についてその個人情報と、獲得ポイントなどの情報が記憶される。会員登録が完了すると、図2(A)に例示するようなポイント登録ページが現れ、利用者は応募ナンバーを入力してポイント登録を行う（ステップS6）。なお、このポイント登録ページはその利用者用の専用ページとなっている。図2(A)において、会員登録した利用者名や現在の獲得ポイント数

が表示される。利用者は、購入した商品に付いている応募ナンバーを入力し、登録する。

【0035】これに応じて、サーバ10は入力された応募ナンバーをチェックする（ステップS8）。つまり、先に述べたように、利用者が入力した応募ナンバーを応募ナンバーDB12内に記憶された応募ナンバーと比較し、入力された応募ナンバーが実際に発行された正しいナンバーであるか否かを確認する。正しければ、サーバ10はその利用者の獲得ポイント数を加算し、会員DB11に記憶する（ステップS10）。正しくなければ、その旨のメッセージを利用者に表示する。なお、サーバ10は応募ナンバーの再入力を利用者に促すことができ、さらにその回数を所定回数（例えば3回）に制限することもできる。

【0036】また、利用者は、友人紹介を行うことができる。図2(A)に示されるようにポイント登録ページには友人紹介の案内が含まれている。利用者が友人の名前、メールアドレスなどを入力して、紹介することを入力すると（ステップS12）、図2(B)に例示するような紹介ページが表示される（ステップS14）。ここで、利用者はその友人宛の電子メールを作成する。作成されたメールは、利用者が入力した友人のメールアドレスへ送信されるが、その際、キャンペーン主催者側による広告メッセージなどがそのメール中に含められる。よって、紹介された友人は、そのメールを開いてキャンペーン主催者のメッセージを見て、興味があれば表示されたURLへアクセスする。そのURLは、例えば前述の会員登録ページになっており、そこで友人は会員登録を行い、キャンペーンに参加することができる。

【0037】友人を紹介した利用者には、例えば友人紹介ポイントなどを与え、それに応じて景品などをプレゼントすることができる。また、友人紹介メールを受け取り、広告メッセージを見て主催者のウェブサイトへアクセスしてきた友人には、特定のポイントを与えることができる。また、紹介した友人が実際に主催者のウェブサイトにアクセスしたことを条件に、紹介者である利用者にさらにポイントを与えることができる。友人紹介メールから主催者のウェブサイトへアクセスした場合は、そのアクセス時の情報中にそのことを示す情報を含めており、主催者ウェブサイト側で友人紹介によるアクセスであることがわかるようにしておく。こうして主催者のウェブサイトに登録した友人は、その後は紹介者と同様にポイント加算などを受けることができる。こうして利用者による応募処理が終了する。

【0038】なお、上述の例は、利用者が初めて主催者ウェブサイトへアクセスした場合であるが、既に会員登録済みの場合は、ステップS6の処理から開始することになる。その場合、利用者の識別は、アクセスにおいて使用された利用者のIPアドレス、プロバイダの利用者識別情報、クッキー(Cookie)などにより行うことができる。

きる。なお、主催者ウェブサイトの入り口で会員に会員IDなどを入力させて会員の識別を行うことももちろん可能である。

【0039】また、上記の例ではポイントを累積して、所定ポイント数ごとに抽選を行ったり、景品を提供したりすることとしているが、応募ナンバーを登録した時にその場で抽選を行い、景品などをプレゼントすることもできる。

【0040】【第2実施形態】次に、本発明の第2実施形態について図4を参照して説明する。第2実施形態のシステムは、図1に示すシステムと基本的に同様の構成を有する。即ち、キャンペーン主催者のサーバ10と、利用者端末2と中継局6とがインターネット1により通信可能に構成されている。サーバ10には会員DB11と応募ナンバーDB12とが接続されている。また、利用者は中継局6を介して、携帯電話4又は携帯型端末3によってもサーバ10に接続することができる。

【0041】本実施形態では、さらに利用者の電話応募にも対応している。即ち、利用者はコールセンター20に電話し、応募ナンバーなどの必要な情報をオペレーターに伝えることにより、又は、自動音声応答システムを利用して応募を行うことができる。

【0042】また、本実施形態では、利用者の応募に対して景品、賞品などを提供するプレミアムサプライヤーの端末22もインターネット1を通じてサーバ10に接続されている。サーバ10は、利用者の応募に対して、当選者に景品、賞品などを提供することを決めると、プレミアムサプライヤー22の端末に、当選者に対する景品、賞品の郵送先などの個人情報を伝える。プレミアムサプライヤーの担当者は、サーバ10から提供された情報に基づいて、景品、賞品などを配送、郵送などの手段により当選者に提供する。

【0043】次に、第2実施形態における応募ナンバーの生成方法について図5を参照して説明する。本実施形態においては、応募ナンバーの生成方法に、不正な応募を防止するため処理を施す。

【0044】具体的には、図5に示すように、まず応募ナンバー中にチェックデジットを加える。図5の例では、総桁数5桁の応募ナンバーの例を挙げている（実際には十数桁の応募ナンバーを使用するが、説明の便宜上、ここでは5桁で説明する）。5桁の応募ナンバーは、1桁目及び4桁目をチェックデジットとし、残りの2桁目、3桁目及び5桁目を応募ナンバーのシリアルナンバーの各位の値とする。

【0045】図5の例では、もともとのシリアルナンバーは3桁の「004」であるが、その百の位（「0」）を応募ナンバーの5桁目とし、十の位（「0」）を応募ナンバーの2桁目とし、一の位（「4」）を応募ナンバーの3桁目としている。そして、1桁目と4桁目にチェックデジットを挿入して5桁の応募ナンバー「1040

0」を生成している。

【0046】さらに、各桁の数値は連続ではなく、ある数毎に増加する方式で決定している。例えば、応募ナンバーの1桁目に相当するチェックデジット①は、シリアルナンバーが5増える毎に1カウントアップし、応募ナンバーの4桁目に相当するチェックデジット②はシリアルナンバーが1増える毎に「2」、「5」、「8」と3ずつ増加する。

【0047】一方、シリアルナンバーの各位の値も、ある初期値に対して特定の数値毎に増加する方式で決定される。例えばシリアルナンバーの一の位は、初期値4で始まり、7ずつ増加していく。

【0048】このように、応募ナンバー中にチェックデジットを挿入することにより、応募ナンバーを受け取ったサーバ10側ではシリアルナンバーとチェックデジットを照合することにより、利用者が提示した応募ナンバーが確かに発行されたか否かを調べることができる。また、シリアルナンバーの各桁は所定数ずつ増加するので、不正な応募者が他人の応募ナンバーや陳列されている商品の応募ナンバーを見て、数値を単純に増加させて応募ナンバーを偽造しても、それが実際に発行された応募ナンバーと一致する確率は低くなる。このように、応募ナンバーの生成方法を工夫することにより、応募ナンバーを偽造するなどによる不正な応募を検出することができる。

【0049】次に、生成された応募ナンバーを商品に添付する方法について説明する。本システムでは、商品に応募ナンバーが例えばシール、タグその他の形態で付されており、利用者が応募ナンバーを見て応募を行う。各商品に付された応募ナンバーは原則としてユニーク（一意）であり、同一のナンバーが複数の商品に付されることはない。そうすることにより、応募を受け付けるサーバは正しい商品購入者の応募のみを識別する。

【0050】しかし、応募ナンバーの全体が商品の包装などに記載されると、実際に商品を購入しなくても応募ナンバーを知ることができてしまう。そのため、本発明では、1つの応募ナンバーを、商品毎にユニークなシリアルナンバーと、それらを包括するグループナンバーとにより構成し、その少なくとも一方を商品の外側からは見えない場所に記載する手法を採用する。

【0051】例えば図6に示すように、応募ナンバーをグループナンバー「11組」とシリアルナンバー「12345」とを組み合わせて「11組12345」と決定したとすると、商品に貼り付けるシールの表面（商品の外側から見える面）にシリアルナンバー「12345」を記載し、そのシールの裏面（商品の外側に貼り付けられる側の面であり、商品の外側からは見えない）にグループナンバー「11組」を記載する。こうすると、利用者は商品を購入しなくてもシリアルナンバーは見えるが、商品を購入し、シールをはがして裏面をみなければ

グループナンバーを見ることはできない。よって、商品を購入した者のみが応募ナンバーを知ることができる事になる。

【0052】また、この手法は、応募ナンバーを印字するスペースに制約がある場合にも利点を有する。例えば清涼飲料などに比較的小さめのシールを貼って応募ナンバーを示す場合、シールの大きさの制約によりあまり桁数の多い応募ナンバーは印字できない場合がある。そのような場合、1つの応募ナンバーを複数のナンバーに分けて異なる部位に印字することにより、応募ナンバーを印字する個々のスペースを小さくすることができる。

【0053】また、この手法は、応募ナンバーを印字する商品又は包装の場所に制約がある場合にも利点を有する。例えば食料品や菓子などに応募ナンバーを付す場合、一般的に、食料品や菓子が直接触れる場所には衛生上応募ナンバーを印字することはできない。つまり、袋に入った菓子などの場合、その袋の内面側には応募ナンバーを印字することはできない。すると、袋の外面に応募ナンバーを印字せざるをえないが、普通に印字すると前述のように、実際に商品を購入しなくとも応募ナンバーがわかつてしまう。そのような場合に、シールの裏表に応募ナンバーを分けて印字することが有効となる。

【0054】なお、上記の例では応募ナンバーをグループナンバー（「11組」）とシリアルナンバー（「12345」）に分けた場合を示したが、応募ナンバーを複数の部分に分ける方法はこの例には限定されない。例えば、十数桁の英数字で構成される応募ナンバーを2つに区切って別の部位に印字、記載し、それらを組み合わせて応募ナンバーを構成するようにしてもよい（例えば、10桁の応募ナンバーの上位5桁をシール表面に、下位5桁をシール裏面に、という具合）。また、応募ナンバーを2以上の部分に分けてそれぞれ異なる部分に印字、記載することも可能である。

【0055】さらに、そうして分割した応募ナンバーをシールの表裏面に印字する例を挙げたが、応募ナンバーを商品に付す方法は各種の方法があり、本発明は各種の場合に適用が可能である。例えば、シールの裏表面ではなく、2重のシールの1枚目と2枚目に応募ナンバーを分けるとか、包装の外側にグループナンバーを印字し、その上に貼付するシールにシリアルナンバーを記載するとか、食品を入れた袋材をさらに紙の外箱に入れて販売するタイプの商品では、外箱の内側にグループナンバーを印刷し、外箱の外側にシリアルナンバーを印字したシールを貼付するとか、種々の形態に適用することができる。

【0056】次に、図7を参照して、応募ナンバーの印字方法の例について説明する。図7に、応募ナンバーを印字する印字システムの概略構成を示す。図7において、印刷管理装置30は図4に示す応募ナンバーDB1と接続されている。なお、印刷管理装置30は図4に

示すサーバ10と同一のサーバであってもよい。

【0057】応募ナンバーDB12には、前述のようにして生成された応募ナンバーが記憶されている。印刷管理装置30は、応募ナンバーDB12を参照して、ユニークな応募ナンバーを各インクジェットプリンタ32へ供給する。

【0058】インクジェットプリンタ32は、それが印刷管理装置30から与えられたユニークな応募ナンバーをシール材や包装材などにプリントする。シール材や袋材などの包装材などは、分断や組立以前のシートの状態で図示しない包装材の製造ライン上を流れている。各インクジェットプリンタ32は、その製造ライン上に設置され、製造ラインによる包装材の製造工程中にそれユニークなナンバーがインクジェットプリンタ32により各包装材に印字される。各インクジェットプリンタ32は、製造ライン上における包装材の搬送速度と同期して制御され、各包装材の適切な場所にナンバーを印字する。

【0059】前述のように、応募ナンバーをシリアルナンバーとグループナンバーに分けて印字する場合には、従来の製造ライン上で包装材に共通のグループナンバーを印刷し、ユニークなシリアルナンバーをインクジェットプリンタ32により印字するように構成すればよい。包装材（袋、箱など）の制作時に製造年月日や製品番号などの情報を包装材に印刷することは一般的に行われるのであるが、それらの情報は複数の包装材について共通の情報であるので同一の版を使用して同時に印刷することができる。しかし、応募ナンバー（シリアルナンバー）は商品毎にユニークでなければならないので、通常の印刷を利用することができない。そこで、複数の商品に共通なグループナンバーを通常の印刷手法により包装材に印刷するとともに、同一の製造ライン上でインクジェットプリンタを使用してユニークなシリアルナンバーを印字することにより、複数の部分からなる応募ナンバーを効率的に包装材に印字することができる。

#### 【0060】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、利用者は携帯電話や携帯端末、パソコンなどを利用し、インターネットを通じて会員ページへアクセスしてキャンペーンへの応募を行うことができる。よって、応募を忘れたりする事なく、簡単に応募することができる。また、主催者側は種々の方法で応募ナンバーを生成してナンバーDBに記憶しておき、利用者からの応募があった場合にその照合などを行って、不正な応募などを排除し、正しい運営を行うことができる。

【0061】また、応募ナンバーの生成においてチェックデジットを導入したり、応募ナンバーを複数の部分から構成して異なる部分（特に、一方は外側からは見えない部分）に印字することにより、不正な応募を防止することができる。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施形態にかかるシステムの概略構成図である。

【図2】応募時の表示画面例を示す。

【図3】利用者の応募処理を示すフローチャートである。

【図4】本発明の第2実施形態にかかるシステムの概略構成図である。

【図5】本発明の第2実施形態における応募ナンバーの生成方法を説明する図である。

【図6】本発明の第2実施形態における応募ナンバーの添付方法を例示する図である。

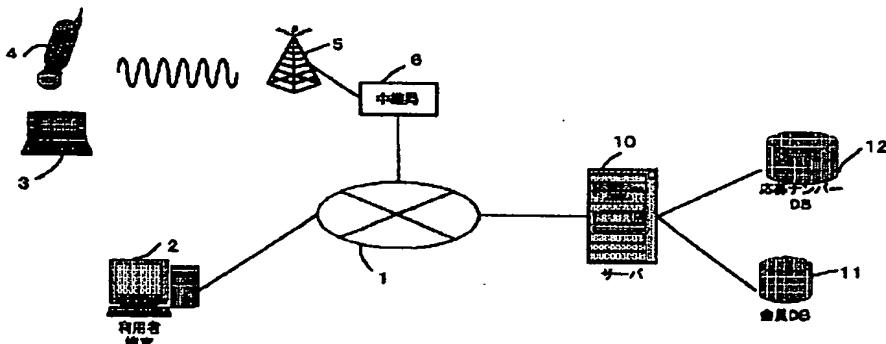
【図7】本発明の第2実施形態における応募ナンバーの

印字方法を示す図である。

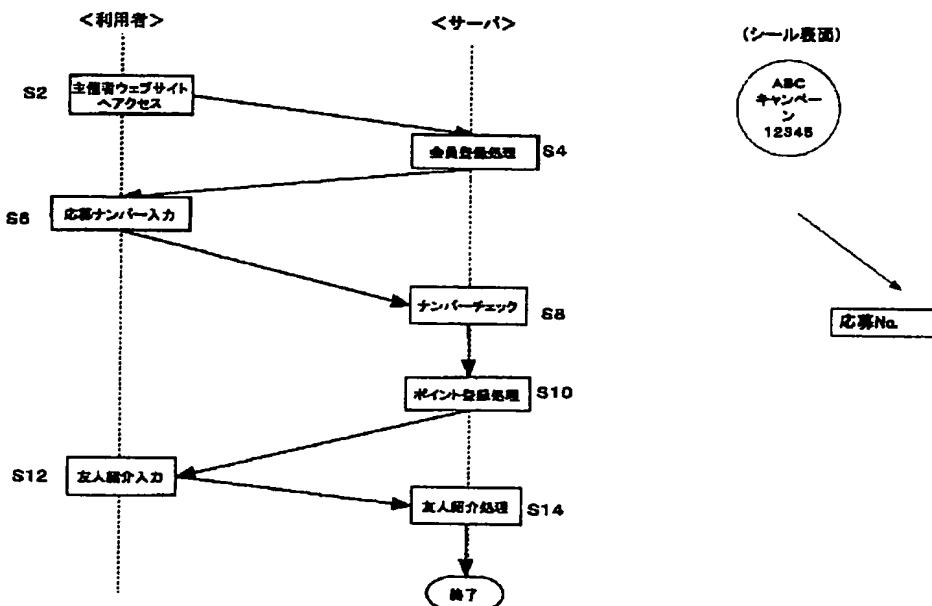
## 【符号の説明】

- 1 インターネット
- 2 利用者の端末
- 3 携帯型端末
- 4 携帯電話
- 5 アンテナ
- 6 中継局
- 10 サーバ
- 11 会員DB
- 12 応募ナンバーDB
- 30 印刷管理装置
- 32 インクジェットプリンタ

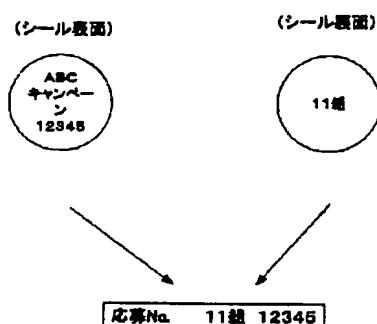
【図1】



【図3】



【図6】



【図2】

<ABCコーヒー ポイント登録ページ>

ここは、「山田太郎」さまのページです。  
現在のポイントは「6438」Pポイントです。

1. おつについている応募ナンバーを入力してください。

応募ナンバー:

2. 友達にメールを送って、ABCコーヒーを紹介してね！

名前:   
メールアドレス:    
性別:  女  男

(A)

◆◆ABCコーヒー お友達紹介ページ◆◆

<お友達へのご紹介メール送信フォーム>

To:  (お友達のメールアドレス)  
※以下の文章がメールに挿入されます。  
ABCコーヒー リニューアル記念 海外旅行プレゼント  
ここにアクセスしてね！<http://www.abcoffee.com>

本文:  (お友達への返信用)  
From:  (あなたの名前)  
 (あなたのメールアドレス)

(B)

【図5】

読み数5桁 数字のみでの構成(10進数)の場合

例え  
一  
番  
五  
番  
日  
10400

ナンバーの各桁は  
1桁目 → チェックシート①  
2桁目 → シリアルナンバーの十の位  
3桁目 → シリアルナンバーの一の位  
4桁目 → チェックシート②  
5桁目 → シリアルナンバーの百の位

それぞれのチェックシートの仕組みについて

チェックシート①  
シリアルナンバーが5増えることに1カウントアップする。0の次は0に戻る。  
チェックシート②  
シリアルナンバーが1増えるたびに、以下の順に数字がカウントされる。  
2→5→8→1→4→7→0→3→6→9→2→6→……繰り返し

シリアルナンバーの一の位のカウントの仕組みについて

初期値4で7飛ばし  
4→1→6→5→2→9→6→3→0→7→4→1→8→……繰り返し

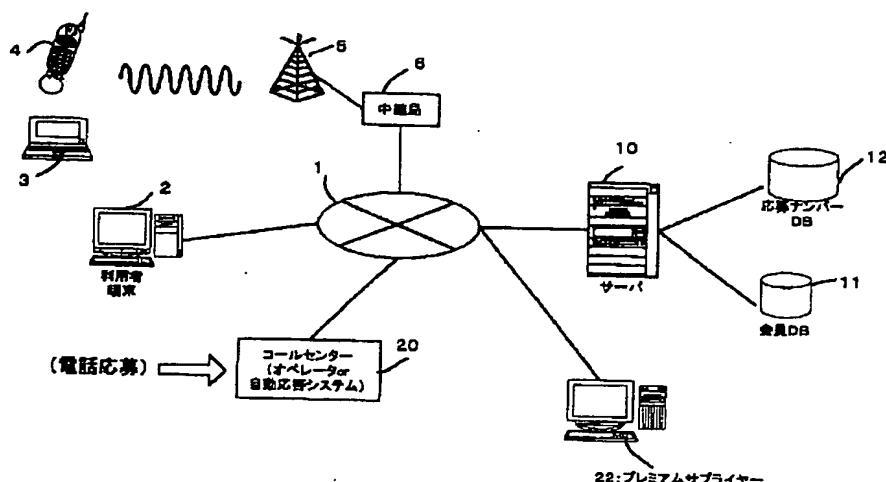
シリアルナンバーの十の位のカウントの仕組みについて

初期値1で7飛ばし  
1→8→5→2→9→6→3→0→7→4→1→8→……繰り返し

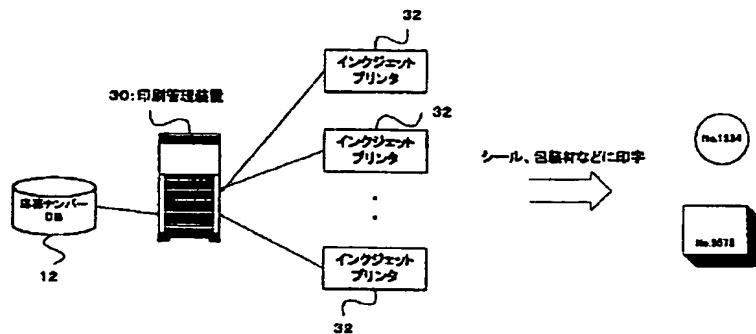
シリアルナンバーの百の位のカウントの仕組みについて

初期値9で7飛ばし  
9→6→3→0→7→4→1→8→5→2→9→6→3→……繰り返し

【図4】



【図7】



This Page is inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record

## BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT OR DRAWING
- BLURED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- GRAY SCALE DOCUMENTS
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- REPERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.  
As rescanning documents *will not* correct images  
problems checked, please do not report the  
problems to the IFW Image Problem Mailbox**